

# 令和6年教育委員会第11回定例会会議録

開会日時 令和6年11月8日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時36分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花 高子  
同職務代理者 井口 信二  
委 員 上原 有美江  
委 員 壺内 明  
委 員 谷部 憲子  
委 員 田中 健

## 議場出席委員

・教育次長	中島 俊一	・学校教育担当部長	山梨 智弘
・教育総務課長	山崎 淳	・学校環境整備担当課長 兼 学校施設担当課長	尾崎 隆夫
・学務課長	羽田 顕	・教育指導課長	谷合みやこ
・学校教育推進担当課長	江川 泰輔	・総合教育センター教育支援課長	二ノ宮 正信
・統括指導主事	青木 大輔	・統括指導主事	田辺 留美子
・地域教育課長 兼 放課後支援課長	高橋 裕之	・生涯学習課長	柏原 正彦
・生涯スポーツ課長	宮木 亮	・中央図書館長	新井 秀成
・副参事（法規担当）	小山 利之		

書記 ・教育企画係長 大石 睦貴

開会宣言 教育長 小花 高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花 高子 委員 井口 信二 委員 上原 有美江  
以上の委員3名を指定する。

開会時刻 10時00分

○教育長 おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和6年教育委員会第11回定例会を開催いたします。

次に、本日の議事録の署名は、私に加え、井口委員と上原委員にお願いをいたします。

それでは議事に入ります。本日は議案等が1件、報告事項等が6件でございます。

それでは、議案第61号「葛飾区立図書館館則の一部を改正する規則」を上程いたします。

中央図書館長。

○中央図書館長 それでは「葛飾区立図書館館則の一部を改正する規則」について、ご説明させていただきます。

葛飾区立図書館の開館日及び開館時間を改める必要があるため、本案を提出するものでございます。先の教育委員会でご報告いたしましたとおり、中央図書館及び立石図書館におきましては、年末年始開館を実施してはいましたが、来館者数の実態を踏まえまして、開館日及び開館時間の見直しを行うとともに、亀有、水元、上小松、お花茶屋、鎌倉の地域館全館で年末年始開館を実施することで、区民サービスの拡充並びにサービスの平準化を行うこととしたものでございます。

開館日、開館時間は以下、別表記載のとおりでございます。

ご審議のほどよろしくお願いたします。

○教育長 ただいまの説明について、ご質問などございますでしょうか。

上原委員。

○上原委員 今まで、年末年始の開館をしていましたけれども、来ている人数はそんなに多くなかったのでしょうか。

○教育長 中央図書館長。

○中央図書館長 12月31日、1月1日及び2日の利用者数に関しましては、12月29日の半分以下というのが実態でございました。

○教育長 上原委員。

○上原委員 そういう意味では、利用する方たちの数がそんなに多くはなかったということですね。5、6年やっていたと思うのですが、実態がもし分かれば教えてください。

○教育長 中央図書館長。

○中央図書館長 おっしゃるとおり、開館して以来継続して統計を取ってまいりまして、その結果に基づいて今回判断いたしました。実態といたしましては、年末年始開館を実施していた年度全てで同様の数値となっておりましたので、12月31日、1月1日及び2日については非常に利用者が少なかったと理解してございます。

○上原委員 分かりました。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

井口委員、お願いいたします。

○井口委員 何年か年末年始開館を実施していた中で調査をし、再度12月31日、1月1日及び2日を休館にするということですね。現状利用者もいるので、何年か後に再度検討する必要があると思いますが、いかがでしょうか。

○教育長 中央図書館長。

○中央図書館長 先ほど申し上げましたように、長年の統計上の数値から判断したところでございますが、その一方で12月29日、30日及び1月3日についてはそれなりの利用者があるということも把握しています。

そのため、12月29日、30日及び1月3日に関しては地域館で開館日を新たに設けまして、利用いただくという判断を、費用対効果の面でもさせていただいたところでございます。

○教育長 井口委員、よろしいでしょうか。

○井口委員 はい。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、お諮りをいたします。議案第61号につきまして、原案のとおり可決することにご異議はございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○教育長 異議なしと認め、議案第61号につきましては原案のとおり可決といたします。

以上で議案等を終わります。

続きまして、報告事項等にまいります。

報告事項等の1「令和6年度中学校英語スピーチ&プレイコンテストの実施結果について」の報告をお願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 それでは、「令和6年度中学校英語スピーチ&プレイコンテストの実施結果について」のご報告をいたします。

今年度は、令和6年10月7日、高砂地区センターにおいて行われました。全区立中学校24校の代表生徒24名によるスピーチの部、2名が参加した暗唱の部に分かれて行われております。

出場資格といたしましては、過去5年間、長期にわたる海外経験がないことや、日常的には英語を使用して生活する環境にないことなどが挙げられております。

中学校英語専科教員3名、ALT2名の合計5名が、内容、聞きやすさ、相手に伝える工夫などの観点で採点をいたしまして、資料にございます結果となっております。

暗唱の部は、スピーチと同様の観点的絶対評価で審査をいたしまして、基準点以上を奨励賞として表彰しております。

スピーチの部で優勝した生徒は、12月に開催予定の東京都英語学芸大会への出場者として推薦されました。なお、スピーチの部に参加した24名の生徒のうち、4名が「かつしかチャレンジプログラム」イングリッシュチャレンジの参加者、また4名はイングリッシュキャンプの経験者であり、葛飾の英語教育の成果を実感しているところでございます。

説明は以上でございます。よろしくお願いたします。

○教育長 ただいまのご報告につきまして、ご質問、ご意見などございましたらお願いしたいと存じます。

壺内委員。

○壺内委員 スピーチの部とレシテーションの部ですか、レシテーションの部については、暗唱であれば文章や詩など分野を問わないのでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 既にある文章ですとか、詩等を選択して暗唱するという内容でございます。

○教育長 壺内委員。

○壺内委員 応募者が2名と少なく感じるので、もう少し多くなるように働きかけていただきたいと思います。

以上です。

○教育長 ご要望ということでよろしいでしょうか。

○壺内委員 はい。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 スピーチの部の参加者については24名ということですが、各中学校から1人ずつという形なののでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 さようでございます。24校から24名ということで。

○教育長 上原委員。

○上原委員 暗唱の参加者が2人しかいないと思うのですが、こちらは任意の参加になっているのでしょうか。それとも、1名ずつは必ず出そうと思っていて、頑張ってお出してくださったのでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 暗唱の部に関しましては任意という形になっておりますので、今回は少なかったという結果でございます。

また、題名にございますとおり、本大会はプレイコンテストでもございまして、例年ですと英語劇の出場があるのですが、今年度は部員が2名と少なく劇が成立しなかったという

報告を受けておりますが、レシテーションを含めまして、働きかけてまいりたいと考えております。

以上でございます。

**○教育長** 上原委員。

**○上原委員** 自分自身の話になるのですが、私も高校生のときに英語のスピーチコンテストに出たのです。もちろん優勝なんかはととてもとてもできなかつたけれども、自分で取り組むことで自信がつくという経験をしました。

だから、出なければならぬということではなく、チャンスを生かしていくということを学校の先生方に働きかけていただくと、もう少し出てくる人たちも増えてくるのではないかと思います。

TGGの視察に行った際も、話せている子が多く見受けられました。ただ、中学生ぐらいの年齢は難しく、失敗することを恐れてしまい、なかなかチャンスをつかみ切れてないところがあると思っています。ぜひともこれを続けていただいて、もう少し応募者が増えるようになればいいかなと思います。

**○教育長** 取り組んでまいりたいと思います。ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、報告事項等の1を終わりいたします。

次に、報告事項等の2「令和6年度葛飾区読書感想文コンクールの実施結果について」の報告をお願いします。

教育指導課長。

**○教育指導課長** それでは、「令和6年度葛飾区読書感想文コンクールの実施結果について」のご報告をいたします。

このコンクールは「青少年読書感想文全国コンクール」の応募作品の中から、区として優れた作品を選出し表彰する取組を通して、子どもたちの努力やよさを価値づける機会とするとともに、読書活動の推進を図ることを目的といたしております。

区立全ての小・中学校から、小学校は1万3,846点、中学校は4,533点の応募がありまして、葛飾区教育研究会国語部の先生方を審査員に、資料のとおり、小学校は低中高学年ごとに最優秀1点、優秀賞2点、佳作3点。中学校は、最優秀1点、優秀4点、佳作5点を選出いたしております。

また、小学校の各部の最優秀、優秀、佳作作品及び中学校の最優秀、優秀作品は東京都の審査会へ出品しております。

この後「広報かつしか」、また「かつしかのきょういく」にも掲載予定でございます。

12月20日に表彰式を予定しております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○**教育長** ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いしたいと存じます。

谷部委員。

○**谷部委員** ありがとうございます。いろいろなジャンルの本を子どもたちが読んでいるのだなということが、分かりました。ちょっと読んでみたいなのもありましたけれども。

せっかくなので、入選、最優秀賞受賞分だけでも本を図書館で展示するなど、ほかの子もこの本を手にとってもらえるような活動につなげられたらなと思いました。

○**教育長** 教育指導課長。

○**教育指導課長** ありがとうございます。対象図書が、課題図書と自由図書ということで、様々な本のジャンルもございます。課題図書は展示をしておりますが、委員からのご助言にございましたとおり、自由図書に関しては、ぜひ最優秀の作品、こちらも、入賞作品読んでいるのですけれども、大変すばらしい作品が並んでおります。

視点ですとか、感じ方、こんなふう子どもたちが感じているのだということ、改めて思うところもございますので、そういった最優秀賞、また自由図書に関して、学校司書の皆様に発信して、そういった取組をぜひやってみたいと思っております。ありがとうございます。

○**教育長** 田中委員。

○**田中委員** ありがとうございます。夏休みに書いた読書感想文が応募されたかなと思うのですけれども、小学校では、1万3,000を超えて、中学校でも4,500点というところで、非常に多くのお子さんに関心を持って応募していただいているのだなと思います。その結果、優秀な作品も出てきて、非常にすばらしい取組かなと感じております。

一方で、この審査が非常に大変なのかなとお察ししますので、その点についてお伺いします。学校の国語の先生にご協力いただいているというところですが、協力してくださる先生方や担当者の方々からご負担になっているという意見は聞いておられますでしょうか。

○**教育長** 教育指導課長。

○**教育指導課長** 1万3,000点余り、また中学校は4,500点余りの作品から、各校から各学年、1作品は、学校の審査を経て提出されております。ですので、小学校で行けば、各学年50校、50作品というカウントになりますので、審査についてご負担になるというお話は特に届いてはおりません。

以上でございます。

○**教育長** 田中委員。

○**田中委員** ありがとうございます。そのように対応していただけているとのことで、いいなと思いました。学校の選定も、恐らく小学校49校で1万3,000点以上なので、1校当たり300、

400 ぐらいあるかなと思うのですけれども、その辺りは、通常の運用としては問題なく回っている状態でしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 学校によって取組に違いがございます。夏休みの課題等として、全員が提出している学校と、任意課題としている学校がございますので、それぞれの学校で作品数は差があらうかと認識をしております。

また、学校内での審査に関しましては、学級でまず1作品を出して、そして学年でまた選出していくというような審査の過程を経ますので、どこかお一方に審査の負担がかかるという事態が発生しない仕組みになってございます。

以上でございます。

○教育長 田中委員。

○田中委員 ありがとうございます。いろいろ工夫していただいて、審査されていると理解をしました。

子どもたちにはいろいろな思考とかレベルがあると思うのですけれども。それぞれ子どもたちが頑張ってくれたので、それがしっかり受け止められるような体制が、今後も継続されるといいなと思いました。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、以上で報告事項等の2を終わりといたします。

次に、報告事項等の3「令和6年度小学校連合陸上競技大会の実施結果について」の報告をお願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 それでは、「令和6年度小学校連合陸上競技大会の実施結果について」のご報告を申し上げます。

今年度は、令和6年10月21日及び22日の午前・午後、4回に分かれ、奥戸総合スポーツセンター陸上競技場において行われました。

全区立小学校49校及び保田しおさい学校の6年生全員が一堂に会し、トラック競技やフィールド競技の全8種目に取り組んでおります。

各種目の今年度の最高記録者は、お手元の資料のとおりでございます。

小学校の記録は、自己の記録と向き合い、記録更新を目指しますことから、大会新記録という概念での見方をしておりませんことを申し添えます。

以上でございます。よろしく願いいたします。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。

井口委員。

○井口委員 私が勤務している共栄大学教育学部の学生が、運営補助ということで毎年お手伝いさせていただいている関係で、私も初日はちょっと寒かったのですが、開会式から閉会式まで全部見させていただきました。

子どもたちが本当に頑張っている様子が久しぶりに全部見られてよかった。特に、最後の学校対校のリレーは盛り上がってよかったなと思います。

学生も、葛飾区出身の学生も何人かいます、梅田小、東柴又小、堀切小で。自分も実は小学校6年のときにここに来て100メートル走ったとか、走り幅跳びに出たとか、そんなことを懐かしいなと言っていました。

競技役員を減らすという学校側の意味からいっても、6年の教員が引率して、さらに競技役員を出してということになると、かなり残留の学校も手薄になってくるので、ぜひこれは継続して、やっていけたらなと思います。

一つ、種目についてなのですが、練習期間における熱中症対策ということで1,000メートルが未実施だと考えていますが、恐らく、実施時期は多分毎年この時期になると思います。

競技場の改修工事があった一昨年を除き、10月の末にずっと実施されているのだけれども、そうすると練習期間の熱中症のリスクがずっと続きますよね。その点を踏まえると、種目について見直しをすることも考えてもいいのかなと思います。

例えば、この後お話のある中学校の大会と違って小学校は全員参加なので、必ずしも走ることが得意ではないという子もいると思うのですが、そうすると50メートルハードルが割と早く、直線コースで終わるので、その後、50メートルという種目があってもいいのかなと思います。

あと、跳躍種目で、これはまた記録が難しいのですが、走り高跳びというのが、小学校でも体育の学習の内容にあるので、あってもいいのかなと思います。

あと一つ、投てき種目ですか。毎年葛飾区の子どもたちは投力が低いという話も出ているので、動機づけとして種目があってもいいのかなと考えます。

1,000メートルの実施が厳しいのであれば、そんなことも考えていただきたいなと思います。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 運営委員の先生方の反省を受けまして、ぜひその視点で協議を進めてまいりたいと考えております。ありがとうございます。

○教育長 ありがとうございます。検討をさせていただきたいと思います。

ほかにはいかがでしょうか

谷部委員。

○谷部委員 私もずっと見学させていただいて、当日に青木統括指導主事とも話をしたのです

が、保田しおさい学校の児童数が足りなくて、リレーに参加できなかったようでした。例えば、子どもの状態にもよるのですけれども、一人が多めに走ったり、先生も走ったりなどして参加できればなと思いました。

来年度以降も、例えば男女混合だったら、4人のチームがつかれるということもあり得るかと思うので、その辺も考慮してあげて、参加できればいいなと思いました。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 保田しおさい学校の在籍人数は、本当に年度によって大分差異がありますので、一概にルールを決めることは難しいかもしれませんが、実態に合わせて検討をしてみたいと考えております。ありがとうございます。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。

壺内委員。

○壺内委員 スポーツの秋にふさわしい小学生の全員参加ということで、私も走り幅跳びを見させていただきましたけれども、全員参加となると計測する人も大変ですね。巻き尺を使って一人ひとり計測し、また砂を平面にしている姿を見て、運営する先生方も大変だなと思っております。

ぜひとも先生方の労をねぎらうというのか、一つ温かい声をかけて、継続するようによろしくお願いしたいと思います。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、いろいろご意見を頂戴したところでございます。

以上で報告事項等の3を終わりといたします。

次に、報告事項等の4「令和6年度中学校連合陸上競技大会の実施結果について」の報告をお願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 それでは、「令和6年度中学校連合陸上競技大会の実施結果について」のご報告をいたします。

本大会は令和6年10月8日に、奥戸総合スポーツセンター陸上競技場において行われました。全区立中学校24校から選抜された選手727名が一堂に会し、トラック競技やフィールド競技の全37種目に取り組んでおります。

その結果、男子は立石中学校、女子は金町中学校が1位となりました。総合では同得点でしたが、上位入賞種目が多い学校を上位とするという規定の下、立石中学校が総合優勝をいたしております。そして、資料のとおり、4種目で大会新記録が生まれました。

ご報告は以上でございます。よろしくお願いたします。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

ありがとうございます。それでは、以上で報告事項等の4を終わりといたします。

次に、報告事項等の5「令和7年度『葛飾教育の日』の実施について」の報告をお願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 「令和7年度『葛飾教育の日』の実施について」のご報告をいたします。

「葛飾教育の日」は、確かな学力の定着や豊かな心の育成などを推進するとともに、家庭・地域との連携をより一層深め、葛飾区の教育の充実を図るため実施しているものでございます。

令和7年度の実施日は、お手元の資料のとおりでございまして、4月は年度初めの保護者会の日程等の都合により、小・中学校の日程が異なっております。また、週末の3連休にかかる日程になる場合には、1週ずらすなどしておりまして、結果としてこのような日程となっております。

また、資料をおめくりいただきまして、要綱が令和6年1月25日に一部改正となっております。学校による実施日が令和6年度から一部異なるということになってございます。

説明は以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いしたいと存じます。いかがでしょうか。

上原委員。

○上原委員 今年から少し変わったということで、保護者の方とか先生方から、どういってお声を頂いているのでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 平日開催を可としたことと行事を「葛飾教育の日」に兼ねることができるようになったことによって、保護者の方からは好評価を頂いております。また、学校現場からも、働き方改革という観点において、大変好評価を頂戴しているところでございます。

説明は以上でございます。

○教育長 上原委員。

○上原委員 23区の中から見ると、葛飾区は「葛飾教育の日」が多いのです。日程が決まっていますと予定が組みやすいと言ってくれる保護者もいらっしゃるのですが、土曜日になってしまうとお稽古事が入られないといったお声も聞いています。行事と兼ねられるというのはあるかもしれませんが、回数としてはそれほど減ったとは感じないのですけれども。

今後、「葛飾教育の日」をどういう扱いにしていこうかなと考えているのか教えていただけますか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 土曜日の出勤についてはこれまで最大で年間 11 日だったのですが、今回の改定をした結果、それが 6 日まで減っております。

ですから、23 区の平均とほぼ同等という回数にまでなっておりますので、今後数年の保護者の参加人数調査や、学校へのアンケートを実施するなどして検討していく必要はあろうかと思いますが、保護者・地域との連携というもともとの趣旨を大事にするということは、続けてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○教育長 よろしいですか。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で報告事項等の 5 を終わりいたします。

次に、報告事項等の 6 「令和 6 年度葛飾区少年の主張大会予選会の結果及び本大会の日程について」の報告をお願いします。

地域教育課長。

○地域教育課長 それでは、私から報告事項等の 6 「令和 6 年度葛飾区少年の主張大会予選会の結果及び本大会の日程について」のご説明をいたします。

資料をご覧ください。少年の主張大会は、青少年育成地区委員会との共催により昭和 60 年から実施しております。応募資格につきましては、小学生の部が 5、6 年生、中学生の部が 1 年生から 3 年生で、どちらも区内在住・在学を要件としてございます。

主張のテーマは自由となっており、5 分程度の内容にまとめるものでございます。

資料 1 (1) につきましては、小学校の部の予選会の結果でございます。予選会は、区内を 19 地区に分けて実施しており、今年度につきましては、49 校、238 名の児童の応募がございました。

小学生の部は、各地区予選会で最優秀の児童が選ばれて、本大会に出場することになります。

本年度につきましては、記載のとおりでございます。

裏面をご覧ください。次に (2) につきましては、中学生の部となっております。

中学生の部は、区内を四つのブロックに分けて実施しているところでございます。

今年度につきましては、23 校から 84 名の生徒の応募がございました。

中学生の部は、ブロック制のため、本大会に出場できる生徒が 2 名選ばれます。各ブロックの選出者のテーマは記載のとおりでございます。

次に、2 の「本大会の日程」でございます。日時につきましては、11 月 16 日土曜日、正午から 4 時半までを予定しており、かつしかシンフォニーヒルズアイリスホールにて開催いたします。

表彰の対象者は（3）に記載のとおりで、当日はどなたでも入場可としてございます。

なお、昨年度の本大会に出場した児童・生徒の中で、東京都の大会を希望した子の中から、今年度、東京都の大会において奨励賞、これは11位から20位までの子が対象となっておりますが、奨励賞を受賞した生徒がございました。東京都に応募した総数が、5,466名。この中から選ばれたというところで、本区の少年の主張大会のレベルについてもかなり高いレベルにあるということが推察されるところでございます。

説明は以上でございます。

**○教育長** 応募者数と当日出場者数についてお話があったようですけれども、もう少し明確にご説明いただけますか。

地域教育課長。

**○地域教育課長** 資料に記載のとおり、小学生の部につきましては、応募者数が251名で、当日の予選会出場者が238名。中学生の部におきましては、応募者数が90名でございましたが、当日は84名の生徒が参加されたというところでございます。

**○教育長** そうすると審査は、応募者数ではなくて、当日来られた方の中で審査をしたということよろしいですか。

地域教育課長。

**○地域教育課長** 審査につきましては、当日参加された方が対象となっております。

**○教育長** そうすると、当日、どうしても都合がつかず来られなかった方は、審査の対象とならないことになりますか。

地域教育課長。

**○地域教育課長** 当日、来られなくなった方につきましては、審査をしてございません。

**○教育長** ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いしたいと存じます。

壺内委員。

**○壺内委員** 今、小・中学校とも研究発表会の時期ということで、ずっと私どもも拝見させていただいていますけれども。その課題や目標は、自分の考えを自信を持って表現することであると思っています。そういう中で、自分の考えを述べるこの大会については、自分に自信を持っていく絶好のチャンスかなと思うのです。

特に、中学生の応募が各学校2名から3名程度と少なすぎますよね。小学校で伸び伸びやっているのに、中学になると大人びて遠慮しているのかどうか分かりませんが、そういうところが残念かなと思います。ぜひ中学生の人数を増やすにはどうしたらいいかということ各学校に働きかけてくださればと考えています。

以上です。

○教育長 地域教育課長。

○地域教育課長 委員がおっしゃるとおり、確かに中学校の応募者数が少ないというところがございます。予選会及び本大会については土日開催ということもあり、部活との兼ね合いなど参加できない理由が様々にあると考えております。我々としては、参加していただくことで得られる経験値というのも、かなり多くなる場所がございますので、中学校の校長先生とも協力しながら、参加する人数を多くするような工夫をさせていただきたいと思っております。ありがとうございます。

○壺内委員 よろしくお願ひします。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

谷部委員。

○谷部委員 ありがとうございます。私も個人的にこの少年の主張大会が好きで、子どもたちが本当に自由な発言をしてくれるので、すごくいいなと思っています。

今回、地区大会も一つ見学をさせていただいたのですけれども、子どもの権利条約にもありますとおり、自分の思ったことや好きなことを伝える機会ということで、大いに広めていただきたいなと思っています。

また、この地区大会開催に当たりましては、本大会もそうなのですけれども、地区委員会の方々には、大変お世話になりますので、その点におきましても敬意を表したいと思ひます。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で報告事項等の6を終わりといたします。

以上で、本日、ご用意させていただきました議事は全て終了となりますけれども、何かその他で、ご意見、ご質問がございましたらお願いしたいと存じます。よろしいでしょうか。

それでは、以上で令和6年教育委員会第11回定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時36分